

大学生・
短大生も

専門
学校生も

高校生も

チャレンジしよう!

食品表示 検定



食品関連企業に
就職したい人
にお勧め!



第30回(2024年度後期)試験概要

初 級

こんな人にお勧め!

食品表示の基礎を学びたい
食品販売・ホテル/レストラン関係を
就職希望

中 級

こんな人にお勧め!

食品表示を作成できるようになりたい
食品開発・仕入れ担当者を
目指したい

試験期間

2024年11月1日(金)

11月23日(土)

2024年11月14日(木)

12月8日(日)

受験料(税込)

5,280円

8,800円

申込期間(初級・中級共通)

受験申込: 9月5日(木)~10月18日(金)

団体事前申請: 8月19日(月)~9月4日(水)

試験方式: CBT方式

コンピューターでの試験。全国300か所以上の会場で日時を選択できる。

4つのメリット

①

就活に役立つ

②

幅広い食品業界で通用する

③

食品の基本がよく分かる

④

買い物が楽しくなる

最新お申込み情報および詳細は
右記QRコードからご確認ください。



主催: 一般社団法人食品表示検定協会

後援: 一般社団法人 日本農林規格協会(JAS協会)、日本チェーンストア協会

詳細はHPをご参照ください <https://www.shokuhyoji.jp/>  食品表示検定

★一般社団法人食品表示検定協会とは
2009年に設立された「食品表示」普及・啓発を目的とした
団体。年間1万5000人ほどの受験者を迎え、約19万人の
方が受験し、約9万人の方々資格を取得し「食品表示診断
士」として全国で活躍している。

増加する「学生」の受験者数!

年間約1万5000人の受験者のうち、学生の比率は10%前後。
学生の受験者も年々増えており、2021年には1000人を超えた。

学生の受験者数推移

	2017年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
初級	224	277	475	453	590	683	579
中級	310	479	494	441	596	597	655
合計	534	756	969	894	1186	1280	1234

学生の受験目的は「就活」!

学校からの推薦に有利な資格であることから、
学生の受験者の半数以上が「就職に活かす」ために受験している。

学生の受験目的(アンケートの総計)



学生の成績は社会人に匹敵!

第28回(2023年後期)では、学生と一般受験者の合格率は
中級でも遜色なく、初級では学生が上回った。

第28回(2023年後期)の学生と一般受験者の合格率



続々と登場する成績優秀学校!

食品表示検定に力を入れる学校が増え、
合格者数上位に成績優秀校が次々に登場している。

合格者数上位5団体

第24回/初級

順位	団体名	合格者数
1	株式会社マルアイ	52人
2	京都栄養医療専門学校	50人
3	三井食品株式会社	38人
4	山梨学院大学	36人
5	京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社	31人

第24回/中級

順位	団体名	合格者数
1	日本デリカフーズ協同組合	57人
2	株式会社エプリー	32人
3	株式会社ライフコーポレーション	29人
4	山梨学院大学	28人
5	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校	15人

第26回/中級

順位	団体名	合格者数
1	日本デリカフーズ協同組合	46人
2	日本食研ホールディングス株式会社	27人
3	株式会社エプリー	22人
4	山梨学院大学	15人
5	プリマム株式会社	13人

第28回/初級

順位	団体名	合格者数
1	株式会社オークワ	76人
2	中村学園大学	63人
3	株式会社さえぎセルパホールディングス	21人
4	イオンリテール株式会社	17人
5	三井食品株式会社	15人

推薦の言葉



株式会社ライフコーポレーション
人事部人財開発課 課長
三宅宏明様

スーパーマーケットは、消費者のライフラインを支える産業です。消費者が商品を安心して購入するためには、成分表示や産地などを記した食品ラベルの内容をお客様に説明できる知識が必要です。「食品表示検定試験」はそのために役立つ資格として社内教育にも取り入れています。また、食品関連企業の就職を希望される学生は、「食品表示検定試験」にチャレンジする事で食の安全・安心について深く学ぶ事ができます。



国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校
教授
古下学様

水産大学校食品科学科は、食品衛生・安全を理解するため「食品表示」をカリキュラムとして取り入れ、水産食品分野で活躍できる人材を育成しています。その一環として、平成29年より「食品表示検定」に取り組んでおります。

近年、食品表示検定に取り組む企業が増加し、その重要性が年々増していることから、就職活動を念頭に検定の受験を希望する学生が増加しています。



京都栄養医療専門学校
副校長
水野裕士様

本校は栄養士・管理栄養士の養成課程をもつ専門学校です。食品表示検定の初級は栄養士・管理栄養士の学習とも共通する部分が多く、幅広く活用できます。また、中級は意欲のある学生が積極的に挑戦しています。私たちの教育の目標は、食を通じて人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにできる職業人を社会に輩出することです。食品表示の理解は食の安心・安全と人々の健康に直結する重要な学習テーマであり、食品表示検定はその礎をつくるのに最適な資格試験であると確信しています。

